



PSC RF MULTI SR 4 PACK



Frequency Ranges:

"Single Band" 470Mhz to 700Mhz

"Dual Band" 470-618Mhz and also Lectro Block 941

"Wide Band" 470Mhz to 960Mhz

- Supports Two Slot Receivers
- Built in RF Distribution and Filtering
- Provides Remote Antenna Powering
- Built in Battery Distribution
- Takes Two External Batteries
- Provides Multi-Color LED Battery Metering
- Made in the U.S.A.

Operation Manual Version 1.0

Copyright 2020 Professional Sound Corp

28085 Smyth Drive, Valencia, CA 91355 U.S.A.

CE RoHS Printed in the U.S.A.

2021/1/20



警告！
 通電時は、SMA コネクタがレーザースロット（空）の中に入らないようにしてください。金属部が中の基板に短絡して機材を損傷する恐れがあります。

PSC RF MULTI SR 4 PACK（以下、SR 4 PACK）には、最大2つのスロットスタイルレーザーで使用するための2つの個別のアクティブな1x3RF スプリッターが含まれています。このコンパクトで頑丈なデバイスは、最新の超低ノイズ RF アンプを使用して開発され、470Mhz から960Mhz の拡張周波数範囲で動作します。

その2つの入力、外部アンテナとのインターフェースで使いやすい従来の BNC コネクタです。各 SMA 出力は、無線受信機間で 24~28dB の標準的なアイソレーションを提供します。SR 4 PACK には、外部給電アンテナまたはリモートラインアンプに電力を供給する機能もあります。ユニットには2つのフロントパネルに取り付けられたスイッチがあります。1つは **MAIN PWR** とマークされており、これはユニットへの全体的な電力を制御します。2番目のスイッチは **ANT PWR** とマークされており、このスイッチは外部電源アンテナまたはリモートラインアンプに送信される電力制御します。使用中は両方のスイッチが点灯します。ユニット全体は、12Vdc @約 170~210mA の外部 DC 電源から電力を供給されます。

ユニットの左側には、4つの TA3M ミニ XLR 出力コネクタがあります。これらは、2つのスロットレーザーからのオーディオ出力を提供します。さらに、ユニットの左側のサイドパネルに2つのシャーシに取り付けられた SMA コネクタがあります。これらは、別の SR 4 PACK または他の同様のデバイスに給電するために使用できる2つの追加の RF 出力を提供します。

SR 4 PACK にはバッテリー分配システムも内蔵されています。ユニットの左側のサイドパネルには2つのバッテリー電源入力があります。これらの2つの外部バッテリー入力は、さまざまな充電式バッテリーのタイプとサイズで使用できます。私たちの業界では、これらのバッテリーは通常、NP-1 または新しい「スマート」バッテリーです。密閉型鉛蓄電池 (SLA) バッテリー、V ロックバッテリーおよび他の多くのタイプも使用できます。SR 4 PACK に2つのバッテリー入力を装備することにより、高負荷の外部機器を使用したり、実行時間を延長したりするために、2つのバッテリーを同時に使用できます。1つのバッテリーを単独で使用することも、オプションの AC 電源と1つのバッテリーを使用することもできます。



FRONT PANEL SHOWING: (left to right)
 Antenna "A" RF Input BNC
 Main Power Switch
 Remote Antenna Power Switch
 1 st Slot Position
 2 nd Slot Position
 Antenna "B" RF Input BNC
 Battery Level LED Meter

POWER DISTRIBUTION AND METERING

SR 4 PACK には、バッテリー分配システム (BDS) も組み込まれています。左側のサイドパネルには、2つのバッテリー入力コネクタがあります。これらは4ピンのミニ XLR コネクタであり、より高い電流容量のために4つすべてのピンに配線されています。(ピン1と2はアース (-)、ピン3と4はプラス (+) です。NP-1 バッテリー、「スマート」バッテリー、V ロックバッテリーなど、すべての一般的なバッテリータイプ使用できます。ニッケルカドミウム、ニッケル金属水合物、リチウムイオン、リチウム鉄リン酸塩 (LiFePO4) または密閉型鉛酸 (SLA) バッテリーなどを使用できます。

フロントパネルの左下隅にあるユニットの主電源スイッチをオンにすると、ユニットの電源が完全にオンになります。フロントパネルの右下隅に4つのLED、マルチカラーバッテリーレベルメーターがあります。このメーターは、ユニットの電源を入れたときのバッテリーレベルを示します。4つのLED がすべて点灯している場合は、バッテリーが完全に充電されていることを示しています。バッテリー容量が低下すると、LED の点灯も低下します。各LED は、バッテリー容量の約25%が残っていることを示します。



注意!

バッテリーメーターを正しく表示させるには、内部のキャリブレーション・ジャンパーピンを適切な設定にする必要があります。

例: 14.8V 設定時に外部 DC 入力が 12.0V だと、バッテリーメーターは点灯しません。



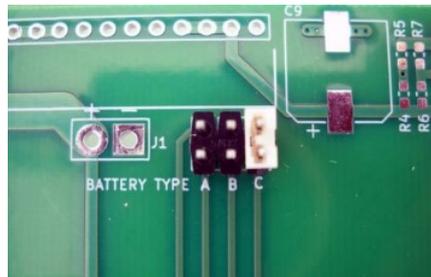
RED, YELLOW, GREEN and BLUE LEDs LIGHTED = FULL BATTERY CAPACITY
 RED, YELLOW and GREEN LEDs LIGHTED, = 75% BATTERY CAPACITY
 RED AND YELLOW LEDs LIGHTED = 50% BATTERY CAPACITY
 RED LED ONLY LIGHTED = 25% OR LESS BATTERY CAPACITY

BATTERY METER CALIBRATION:

ユニットの内部には、3つの異なるバッテリー特性 (電圧) に対応する3つの異なる位置に設定できる小さなジャンパーがあります。ジャンパーは、リチウムイオンバッテリー (公称電圧 14.8 ボルト) を監視するように工場で設定されています。この設定は、ほとんどの新しいリチウム NP-1 バッテリーとすべての新しいリチウム「スマート」バッテリーに適しているため、最も一般的です。他にも2つの設定があります。1つの設定は、密閉型鉛蓄電池 (SLA) やリン酸鉄リチウム (LiFePO4) などの 12.8 ボルトのバッテリーで使用するためのものです。もう1つの設定は、ニッケル水素電池 (一部の古い NP-1) で使用するためのものです。工場出荷時以外の標準バッテリー監視を使用する場合は、上部カバーにある14本のネジを外してユニットの上部カバーを取り外す必要があります。

カバーを外すと、バッテリーモニタージャンパーが表示されます。これは、メイン下部の PCB の USB 電源ジャックの近くにあり、次に、ジャンパーを目的の位置に移動できます。PCB には次の3つの位置がマークされています。

- Position "A" = 12.8V Sealed Lead Acid (SLA) or Lithium Iron Phosphate (LiFePO4)
- Position "B" = 13.2V Nickel metal Hydride
- Position "C" = 14.8V Lithium Ion (Lithium NP-1 or any "Smart" Battery)



STEP BY STEP USE GUIDE:

1. スロットスタイルのレシーバーを SR 4 PACK の前面の開口部に取り付け、DB-25 コネクタの正しい方向に注意してください。DB-25 コネクタが揃うまで、レシーバーをスロットにゆっくりとスライドさせます。コネクタが揃っていることを確認したら、スロットレシーバーを所定の位置にしっかりと押し込みます。レシーバーのネジを使用して、レシーバーを所定の位置にロックします。
2. 4 つの TA3M オーディオ出力または DB-15ND コネクタからのオーディオ出力ケーブルをミキサーまたはレコーダーの入力に接続します。どちらのコネクタタイプも、アナログ信号または AES デジタル信号のいずれかで使用できます。
3. ユニットの左側のサイドパネルにある TB4M シャーシの 4 ピン電源コネクタに 1 つまたは 2 つのバッテリーを接続します。
4. 2 つの受信アンテナをユニットのフロントパネルにある RF 入力 BNC コネクタに接続します。パワードアンテナまたはリモートラインアンプを使用する場合は、「アンテナ」電源スイッチをオンにします。他のすべての用途では、このスイッチをオフのままにします。
5. ケーブルが X パターンになるように、SR 4 PACK ケーブルに取り付けられた SMA コネクタをスロットレシーバーに接続します。状況によっては、RF ケーブルを交差させるのではなく受信機に合わせておく方が理にかなっている場合があります。どちらの方法でもかまいません。下の写真を参照してください：



警告！

通電時は、SMA コネクタがレシーバースロット（空）の中に入らないようにしてください。金属部が中の基板に短絡して機材を損傷する恐れがあります。

6. ユニットの電源を入れます。ユニットの電源を入れると、電源スイッチが緑色に点灯することに注意してください。

備考 1

ENG の「オーディオバッグ」に収納して使用する場合は、受信アンテナをバッグのショルダーストラップに機材から離れた場所に取り付けることをお勧めします。これは、デジタル機器から発せられる高周波ノイズの影響を避けるのに役立ちます。

備考 2

さまざまなブランドのワイヤレスレシーバーが、SR 4 PACK で動作するには、独自のブランド製アダプターが必要です。これらは、イケガミまたはパナソニックのカメラにスロットレシーバーを取り付けるために必要なアダプターと同じです。例えば：

Lectrosanics SRB requires their “SRUNI” kit.
Wiscom MCR42 requires their “SCK42-IK-PSC kit.
Audio Limited A10-RX no adapter needed.

SPECIFICATIONS:

Size:	9.25" x 5.75" x 1.6" (23.5cm x 14cm x 4cm)
Weight:	1.6 Lbs. (0.725 kg)
Power:	External DC, 12 to 18Vdc @ 170mA
Input Impedance:	50 Ohms
Input Connector:	BNC
Output Impedance:	50 Ohms
Output Connector:	SMA
Maximum Input Signal:	+13dB
Noise Figure:	0.8dB
Chassis Material:	Aircraft Aluminum
Finish:	Black Epoxy Wrinkle Texture Powder Coat
Warranty:	1 Year, limited